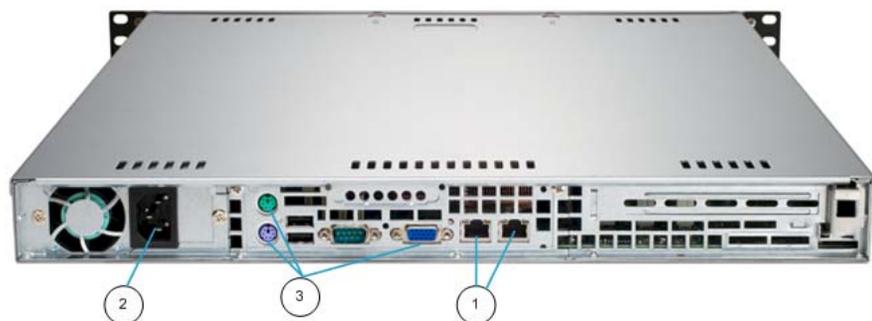




CommandCenter Secure Gateway V1 モデル

クイック インストレーションおよびセットアップ ガイド

CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) V1 ユニットをお買い上げいただき、ありがとうございます。CC-SG は、IT デバイスのセキュアなアクセスとコントロールを統合する、Raritan の管理ソフトウェア プラットフォームです。このマニュアルでは、CC-SG を最小限の所要時間で設定し、稼働させるための手順を説明します。CC-SG をインストールする前に、CC-SG を使って管理するデバイスを準備しておく必要があります。詳細については、Raritan の『CommandCenter Secure Gateway デプロイメント ガイド』を参照してください。



図の説明

1	LAN ポート
2	電源
3	KVM ポート

I. CC-SG のパッケージを開く

製品パッケージの内容は、次のとおりです。

- (1) CommandCenter Secure Gateway V1 ユニット
- (1) CommandCenter Secure Gateway V1 フロント ベゼル
- (1) ラック マウント キット
- (1) 電源コード

- (1) CAT 5 ネットワーク ケーブル
- (1) 印刷版『クイック セットアップ ガイド』(本書)
- (1) Raritan ユーザ ドキュメンテーション CD
- (1) ユーザ登録書と保証書

テクニカル サポート

パッケージに上記の項目がすべて入っていない場合は、米国 Raritan 社 (電話 +1-800-724-8090、北米東部時間 8:

00 AM ~ 8:00 PM) または現地の Raritan 事業所までご連絡ください。

ラック設置場所の決定

CC-SG ラックの設置には、風通しの良い清潔で埃の少ない場所が適しています。熱、電氣的ノイズ、電磁界が発生する場所を避け、アース付きコンセントの近くに設置します。

II. ラック マウント CC-SG

▶ レール セクションの識別

ラック マウント キットには 2 つのラック レール アセンブリが入っています。各アセンブリは、ユニットに取り付ける内部固定シャーシ レール (A) と、レール ブラケットに取り付ける外部固定ラック レール (B) の 2 つのセクションから成ります。2 つのセクションの間に入っているスライディング レール ガイドは、外部固定ラック レールに付けたままにします。A と B のレールは取り付けの際に外す必要があります。

内部固定シャーシ レール (A) を外すには、カチッという音がしてレール アセンブリの内側からロック タブが出て、内部レールがロックされるまでレールを外側に引き出します。ロック タブを押し込んで内部レールを完全に外に引き出します。両方のラック レール アセンブリを同じように引き出してください。

▶ シャーシ レールの取り付け

1. 先ほど取り外した内部固定シャーシ レール セクションをシャーシの一方の側面にそって 5 つのネジ穴が揃うように配置します。
2. レールをシャーシの側面にネジで固定します。
3. シャーシの反対側で手順 1 と 2 を繰り返し、もう一方のレールを取り付けます。Telco ラックに取り付ける場合は、レール ブラケットを取り付けます。

▶ ラック レールの取り付け

1. CC-SG をラックのどこに配置するかを決めます。
2. 外部固定ラック レール/スライディング レール ガイド アセンブリをラックの希望の位置に配置し、スライディング レール ガイドはラックの内側に向けます。
3. 付属のブラケットを使ってアセンブリをラックにネジで固定します。
4. ラックの反対側にもう一方のアセンブリを取り付けます。このとき、両方のアセンブリの高さが同じで、レール ガイドが必ず

内側を向くように注意します。この作業は 2 人で行うことをお勧めします。

▶ ラックに CC-SG を取り付ける

シャーシとラックの両方にレールを取り付けた後、CC-SG をラックに取り付けます。

1. シャーシ レールの後方をラック レールの前方に揃えます。
2. 両端を均等に押しながらシャーシ レールをラック レールの中に滑り込ませます (挿入時にロック タブを押す必要がある場合があります)。CC-SG をラックの中に完全に押し入れると、ロック タブがカチッとほまる音がするはずですが、

ロック タブ

両方のシャーシ レールにあるロック タブは、2 つの機能を果たします。

- CC-SG を取り付けてラックの中 (標準稼働時の位置) に押し込むとき、ユニットを所定位置にロックします。
- 修理のため CC-SG をラックから引き出した際に、ユニットがラックから落ちないように固定します。

III. ケーブルの接続

CC-SG ユニートをラックに取り付けると、ケーブルを接続できます。ページ 1 の図を参照してください。

1. CAT 5 ネットワーク LAN ケーブルを、CC-SG ユニートの背面パネルにある LAN 1 ポートに接続します。2 本目の CAT 5 ネットワーク LAN ケーブルを LAN 2 ポートに接続することを強く推奨します。各 CAT 5 ケーブルのもう一方の端をネットワークに接続します。
2. 付属の AC 電源コードを、CC-SG ユニートの背面パネルにあるパワー ポートに接続します。AC 電源コードのもう一方の端を AC 電源コンセントに差し込みます。
3. KVM ケーブルを CC-SG ユニートの背面パネルにある適切なポートに接続します。

IV. ローカル コンソールにログインし、CC-SG IP アドレスを設定する

1. CC-SG ユニートの前面にある電源ボタンを押して、CC-SG の電源を入れます。
2. CC-SG ユニートの前面にフロント ベゼルを差し込んで取り付けます。

- admin/raritan としてログインします。ユーザ名とパスワードは大文字と小文字を区別します。
- 続いてローカル コンソールのパスワードの変更を求めるプロンプトが表示されます。
 - デフォルトのパスワード (raritan) を再度入力します。
 - 新しいパスワードを入力し、確認します。新しいパスワードは、英数字を組み合わせた 8 文字以上の強力なパスワードにする必要があることに注意してください。
- [Welcome] 画面が表示されたら CTRL+X を押します
- [Operation] > [Network Interfaces] > [Network Interface Config] を選択します。Administrator Console が表示されます。
- [Configuration] フィールドから、[DHCP] または [Static] を選択します。[Static] を選択した場合、静的 IP アドレスを入力します。必要に応じて、DNS サーバ、ネットマスク、ゲートウェイ アドレスを指定します。
- [Save] を選択します。CC-SG が再起動するまで数分間待ちます。

CC-SG のデフォルト設定

IP アドレス: 192.168.0.192

サブネット マスク: 255.255.255.0

ユーザ名/パスワード: admin/raritan

V. CC-SG へのログイン

CC-SG が再起動すると、リモート クライアントから CC-SG にログインできるようになります。

- サポートされているブラウザを起動し、CC-SG の URL 「http://<IP アドレス>/admin」と入力します。
たとえば、「http://192.168.0.192/admin」のように入力します。
- セキュリティ警告ウィンドウが表示されたら、[はい] をクリックします。
- サポートされていない Java Runtime Environment バージョンを使用すると、警告が表示されます。プロンプトの表示に従って、正しいバージョンをダウンロードするか、続行します。ログイン ウィンドウが表示されます。

- デフォルトのユーザ名 (admin) とパスワード (raritan) を入力し、[Login] をクリックします。

CC-SG Admin Client が表示されます。

VI. 次の手順

CC-SG の管理用に他の Raritan デバイスを設置する場合の詳細については、『CommandCenter Secure Gateway デプロイメント ガイド』を参照してください。

CC-SG の設定の詳細については、『CommandCenter Secure Gateway 管理者ガイド』を参照してください。